

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	市バス運行事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120110	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	82・84	頁
施策体系	施策コード	030202		施策名	利用しやすいバス交通を確保する								
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	福知山市地域公共交通網形成計画					
根拠法令等	道路運送法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	敬老乗車券事業、公共交通維持改善事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	民間バス運行事業者の廃止代替路線として旧3町から引き継いだ路線バスを継続して運行することにより、山間地等の交通不便地域の生活交通を確保し、移動手段を持たない高齢者や学生等の利便性の維持・向上を図る。								
対象者	市バス利用者数	対象者数	36,838		単位あたりコスト	1.5			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	(有)チームワーク								
事業概要 (箇条書き)	三和地域4路線、夜久野地域3路線、大江地域2路線、大江鬼楽バス5路線の市バスを運行する。旧3町地域から引き継いだ市バス路線を継続して運行することにより、山間地等の交通不便地域の生活交通を確保し、自動車等の交通移動手段を持たない高齢者や学生などの利便性の維持・向上を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	1,409	市バス車両の修繕料及びバス停標識の新設、時刻表等に係る消耗品費等						
	役員費	125	市バス車両車検に伴う手数料及び保険料						
	委託料	49,673	市バス運行業務委託料等						
	使用料及び賃借料	108	市バス車庫使用料等						
公課費	152	市バス車両重量税							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	54,784	51,028		51,408		59,556		
	② 補正予算	0	0		0		0		
	③ 繰越予算	0	0		0		0		
	前年度繰越	0	0		0		0		
	次年度繰越	0	0		0		0		
小計(①～③)	54,784	51,028		51,408		59,556			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0		0		
	② 国支出金	0	0		0		0		
	③ 府支出金	9,566	9,498		9,381		5,752		
	④ 地方債	0	0		0		0		
	⑤ その他特財	45,218	41,530		42,027		53,804		
決算情報	① 流充用額	2,066	439		0		0		
	② 配当予算	56,850	51,467		0		0		
	③ 執行額	56,846	51,467		0		0		
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.53/0	0.53	/	0.00	0.53	/	0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	4,240	4,240		4,240		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	61,086	55,707		4,240					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村運行確保生活路線維持費補助金	種類	総務費府補助金	実績金額	8,748	決算付属資料	24	頁
	特財名称	市バス運行事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	36,123	決算付属資料	38	頁
	特財名称	市バス広告収入	種類	雑入	実績金額	118	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	市バス利用者数	人	42,216/56,000	40,711/56,000	36,838 / 56,000	/	56,000	56,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	1日当たり市バス運行便数	本	53/62	50/50	42 / 42	/	42	42		
	単位あたりコスト		1163.55	1136.92	1225.40	/				
	単位あたりコスト		/	/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	高齢者や学生等の移動手段を確保するとともに、地域活力を維持するため地域の生活路線を維持する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	京都府補助金や過疎基金を活用し、効率的に実施している。また、地域の実情に応じた再編を進め、効率化を図っている。しかし、未だに利用の少ない路線や便が残っており、利用者の減少に見合った運行形態への再編を今以上に進める必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	人口減少や高齢化も影響して利用者数は減少傾向にあるが、公共交通の地域における必要性は依然として高く、地域の生活環境を維持する上で移送手段の確保は必須である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	公共交通は、自動車等の移動手段を持たない交通不便地域の高齢者や学生等にとってなくてはならないものである。しかし、路線バスの利用者数は減少傾向にあり、それぞれの地域の特性に応じた効率的で利便性の高い他の移動手段の導入を検討し、転換を図っており、成果実績の達成は困難な状況である。今後、転換の方向性をそれぞれの地域で定めていく中で目標の再設定を検討していく。		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市の路線バス再編の基本方針である「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、市バスについては平成29年度から随時再編を実施している。具体的には、三和地域において、利用が少ない便の減便等を行い、その代替移動手段として公共交通空白地有償運送や令和元年度からはスクールバス一般混乗を導入しており、今後は他地域での展開を検討している。また、計画の期間が令和2年度までであるため、第2次計画である(仮称)福知山市地域公共交通計画を作成し、実績の評価や目標値・方針の見直しを行っていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し	市バスの再編について、令和3年度には大江地域において、市バス低利用便の減便及び一部デマンド(予約制)化、併せて公共交通空白地有償運送の導入を検討している。引き続き、利便性を考慮しながら運行の効率化や代替交通の導入を進めていく。
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	公共交通維持改善事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120116	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	030202		施策名	利用しやすいバス交通を確保する								
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	福知山市地域公共交通網形成計画					
根拠法令等	道路運送法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	敬老乗車券事業、市バス運行事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公共交通の利用者は年々減少傾向にあり、持続可能な地域公共交通を確保するために、地域の実情と市民ニーズに対応した交通体系の再編と利用促進が求められている。本事業では、本市の公共交通再編の基本方針となる「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、公共交通の維持及び改善に関する事業を展開する。								
対象者	路線バス利用者	対象者数	552,463			単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山市、福知山市地域公共交通会議								

事業概要 (箇条書き)

バス路線の維持確保を目的に、市内で路線バスを運行する事業者に対し、国・府と協調しながら財政支援を行った。公共交通の利用促進を目的に、市内を運行する路線バスと鉄道の路線及び運行時刻等を掲載したバスマップ付時刻表を作成、配布した。道路運送法の規定に基づき、専門的立場の関係者による地域公共交通会議を開催し、路線バスの路線変更、運賃改定や利用促進、また交通手段を持たない人に配慮した交通システム導入等に関する協議、調整、検討等を行った。本事業は、平成30年度に「地方バス路線運行事業」、「市内バス時刻表作成事業」、「地域公共交通会議開催事業」の3事業を統合したものである。

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容		
	負担金補助及び交付金	65,391	民間バス、自主運行バスの収支欠損に対する補助		
	需用費	483	バスマップ&時刻表印刷製本、駅北口用バス時刻表印刷製本、色上質紙購入		
	報酬	416	地域公共交通会議及び調整部会の開催		
	旅費	183	公共交通に関する協議等のための出張		
役員費	49	公共交通に関する文書の郵送			

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,229	1,049	9,577	7,290
	② 補正予算	60,913	65,392	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	62,142	66,441	9,577	7,290	
予算財源内訳	① 一般財源	54,717	57,988	5,301	6,105
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	7,398	8,426	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	27	27	4,276	1,185
決算情報	① 流充用額	50	189	0	0
	② 配当予算	62,192	66,630	0	0
	③ 執行額	60,586	66,521	0	0
	④ 執行率	97.4%	99.8%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	1.75/0	0.86 / 0.00	0.86 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	14,000	6,880	6,880	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	74,586	73,401	6,880		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村運行確保生活路線維持費補助金	種類	総務費府補助金	実績金額	8,426	決算付属資料	24	頁
	特財名称	市内バス時刻表広告収入	種類	雑入	実績金額	24	決算付属資料	44	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		市民一人あたりの年間路線バス利用回数	回	7.6/7.0	7.3/7.0	7.1 / 7.0	/ 7.0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	補助金額(運行維持費のみ)	千円	55,503/54,762	59,544/54,762	65,391 / 54,762	/ 54,762	54,762
	単位あたりコスト		1.02	1.02	1.02		
	時刻表配布冊数	冊	7,000/5,000	5,000/5,000	5,000 / 5,000	/ 5,000	5,000
	単位あたりコスト		8.09	12.12	13.30		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>移動手段を持たない高齢者や学生等の移動手段を確保する必要があり、そのためには、財政支援による公共交通の維持や、バスマップの作成による利用促進が必要である。また、公共交通再編にあたっては、地域住民や運行事業者等様々な視点からの意見を交流する法に基づいた会議の開催が必須となっている。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<p>運行事業者への財政支援は、国、府及び隣接市町と協調して行っている。また、別々であった路線図と時刻表を一体化することでコストを削減し、さらに、民間バス事業者の有料広告を掲載し、財源確保に努めている。地域公共交通会議で協議が調った事項については、運輸局の承認等が短時間かつ円滑になり、有効な事業である。</p>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<p>財政支援を行うことで路線バス等の生活移動手段を維持・確保し、市民の利便性、地域活力の確保に寄与している。まちなか循環バス等一部のバス路線については利用が拡大している。活動実績は作成部数を確実に配布しており有効活用している。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>路線バス再編の基本方針となる「福知山市地域公共交通網形成計画」において、民間バス等への支援を始めとする市の財政負担額については、平成27年度額を基本として現状を上回らないことを目標として掲げており、再編の実施期間である令和2年度までに、市の財政負担額について一定の抑制を図りつつ、最大限効率的な再編を行うこととしている。路線バス利用者数の変動については、他事業も含めた複数の要因によるものであるが、近年は、一部路線で利用者数が増加しており、本事業の実施も一定の効果があったと考えられる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>引き続き継続して実施していくが、現行路線の維持と同時に利用促進や他の交通手段への転換も積極的に展開する必要がある。さらに事業者への支援のあり方についても並行して検討する必要がある。平成25年度からそれぞれ別々に作成していた路線図(マップ)と時刻表が一体となったものを作成し、一定の評価は得たものの、路線バスの利用はなじみが薄いと分かりにくい面もあり、高齢者や観光客に対して、さらに分かりやすく発信できるよう工夫する必要がある。また、バス利用者に対してより効果的な情報発信ができるよう、時刻表に料金表を表示するQRコードや案内観光・交通案内アプリ「森の京都NAVI」のダウンロードの案内を掲載しており、ICTによる効果的な情報発信を引き続き検討していく。本事業においては、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画等の各項目の実施も推進していく必要がある。また、計画の期間が令和2年度までであり、第2次計画である(仮称)地域公共交通計画を作成し、実績の評価や目標値・方針の見直しを行っていく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>引き続き路線バスの維持や効率化を図るための事業を実施しながら、そのためのマスタープランである地域公共交通網形成計画の2次計画である(仮称)福知山市地域公共交通計画を作成する。さらに、北部7市町で連携し、広域的な地域公共交通計画を作成し、共通の課題解決に取り組んでいく。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	敬老乗車券事業												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120168	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 交通対策費	会計	01 一般会計	決算付属資料	84	頁
施策体系	施策コード	030202	施策名	利用しやすいバス交通を確保する									
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市地域公共交通網形成計画							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	高齢者の通院や買い物等の外出を支援することによって、公共交通の利用促進を図ることを目的とする。								
対象者	75歳以上の市民で、福知山市在宅高齢者外出支援助成事業を利用されていない人		対象者数	11,120		単位あたりコスト	1.6		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	市内在住の75歳以上の高齢者を対象に、路線バスや京都丹後鉄道の乗車券1冊3,000円分を500円で購入できる敬老乗車券(100円券30枚)として販売する。ただし、購入は1人につき同年度内に3冊まで(免許返納者は5冊まで)に制限している。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助金及び交付金	9,797	敬老乗車券が使用された額に対する運行事業者への負担金						
	賃金	1,240	臨時職員賃金						
	需用費	171	消耗品費・印刷製本費						
	備品購入費	10	老眼鏡購入費用						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	13,252	10,171	11,862	9,315				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	13,252	10,171	11,862	9,315					
予算財源内訳	① 一般財源	8,577	6,078	7,479	5,930				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	4,675	4,093	4,383	3,385				
決算情報	① 流充用額	35	1,219	0	0				
	② 配当予算	13,287	11,390	0	0				
	③ 執行額	12,934	11,218	0	0				
	④ 執行率	97.3%	98.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・兼任職員)	0.28/0	0.82 / 0.00	0.82 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,240	6,560	6,560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,174	17,778	6,560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	敬老乗車券販売収入	種類	雑入	実績金額	2,094	決算付属資料	46	頁
	特財名称	敬老乗車券基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	2,077	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	敬老乗車券販売者数	人	1,450/1,500	1,212/1,500	1,564 / 1,500	/ 1,500	1,500		
	市民1人あたりの年間路線バス利用回数	人	7.6/7.0	7.3/7.0	7.1 / 7.0	/ 7	7		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	敬老乗車券販売冊数	冊	3,858/4,000	3,272/4,000	4,118 / 4,000	/ 4,000	4,000		
	単位あたりコスト		3.18	3.95	2.72				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	公共交通の維持・確保が社会問題となっているなか、利用促進策である本事業の優先度は高い。また、福知山市は多くの運行事業者が存在することから、行政以外では統一の実施が困難である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	他市事例を研究したうえで、年齢制限を設けるとともに、利用者の裾野を広げることを目的に購入制限を設けており、日常的利用者の単なる運賃補助にならないように工夫している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	敬老乗車券の利用に対する運行事業者への負担額よりも、運行事業者の収支欠損分補助額の減少のほうが大きく有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	敬老乗車券の販売数は、H26年度の3,576冊からR1年度の4,118冊へと大幅に増加した。市内のバスの総利用者数は、年度ごとの増減はあるものの横ばい傾向にあり、高齢者の外出支援策として成果を上げている。		
これまでの課題及び今後の方向性	敬老乗車券事業については、事業そのもののあり方について、福祉施策と一体となった移動支援策の再構築を検討してきたが、令和2年度は現行制度のまま実施することとした。令和3年度以降に向けては、現在の公共交通の利用促進という視点とともに移動困難者の移動手段を確保するという福祉の視点も含めて、制度の総合的見直しについて検討を継続する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年度は敬老乗車券販売冊数が4,118冊と事業開始以降最高となった一方で、利用率が77.9%と伸び悩んだ。今後は事業内容の周知と並行し、敬老乗車券販売時に購入者に対してバス・京都丹後鉄道両方の利用を呼びかける等利用率向上を図る。予算については、利用実績を分析し適切な金額を要求する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---